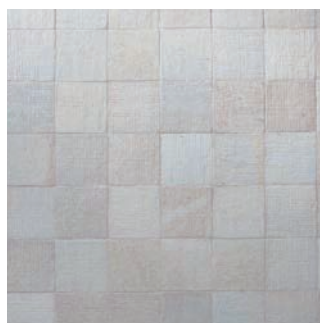
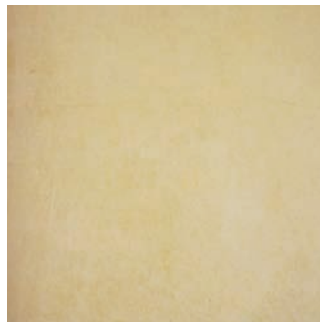




# “矢中の杜” 2016

NPO 法人 “矢中の杜” の守り人 会報



# 活動報告

## 活動記録（平成28年度）

4/12	守り人満喫デー in 土浦
4/17	守り人満喫デー in 東京・大田区
5/9	筑波大学社会工学類授業受入れ
5/31, 6/14	第8期守り人育成講座（座学）
6/18-7/3	手ぬぐい展2016（期間中の6日間）
7/9	近代和風住宅調査
7/25-26	BSプレミアム「シリーズ江戸川乱歩短編集Ⅱ妖しい愛の物語 何者」ロケ地活用
9/10	地域おこし協力隊交流研修会
11/3	筑波山麓秋祭り2016「めでたづくし文様帖ワークショップ」
10/22-11/20	筑波山麓秋祭り2016「野沢如洋展」（期間中の8日間）
12/26	NHK BSプレミアム「シリーズ江戸川乱歩短編集Ⅱ妖しい愛の物語」第1夜「何者」放送
2/16	北条小学校「のこしたいもの、つたえたいもの」授業協力
2/27	筑波高校“つくばね学”中間報告会

## 主なメディア掲載

4月	・ TX 筑波山 MAP vol.18（2016年4月発行） ・ いばナビ「手ぬぐい展2016」「第8期守り人育成講座」開催記事掲載
5月	・ イベントカレンダー5月号「第8期守り人育成講座」募集記事掲載
6月	・ イベントカレンダー6月号「手ぬぐい展2016」開催記事掲載 ・ 茨城放送 スマイル・スマイル plus i 「矢中の杜」「手ぬぐい展2016」「第8期守り人育成講座」紹介インタビュー放送 ・ 地域情報誌 Couta「手ぬぐい展2016」開催記事掲載 ・ 共同通信社 配信ための「手ぬぐい展2016」開催内容の確認 ・ ケーブルテレビ ACCS「手ぬぐい展2016」紹介ニュース放送 ・ 常陽リビング「手ぬぐい展2016」開催記事掲載
7月	・ イベントカレンダー7月号「手ぬぐい展2016」開催記事掲載
10月	・ 常陽リビング「野沢如洋展」「めでたづくし文様帖ワークショップ」開催記事掲載 ・ しんぶん赤旗 下中菜穂氏のコラム内で前年度開催の「建物文様帖ワークショップ」と「矢中の杜」の紹介を掲載 ・ 茨城放送スマイル・スマイル plus i「野沢如洋展」「めでたづくし文様帖ワークショップ」紹介ニュース放送
11月	・ イベントカレンダー11月号「野沢如洋展」開催記事掲載
12月	・ わくわくライフいばらき「矢中の杜」紹介記事掲載
2月	・ 月刊 ezpress. 2月号：北条市の記事の中で「矢中の杜」紹介記事掲載
3月	・ 常陽リビング「乙女のつくば道2017」「国登録文化財巡り in 北条」開催記事掲載 ・ 茨城放送スマイル・スマイル plus i「国登録文化財巡り in 北条」紹介インタビュー放送

## NPO 会員数（平成29年3月31日現在）

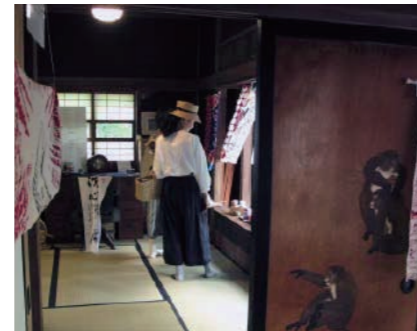
正会員	22名	／	友の会会員	17名
賛助会員	7名	／	ボランティア会員	22名

計 68名

# 邸宅活用イベント



(左) 本館では、招き猫たちが見学者をお出迎えです。  
(下) 縁起物玩具の展示もあり、邸宅全体がにぎやかになりました。



## 手ぬぐい展 2016

一昨年、昨年と開催して好評だった、手ぬぐい展。3回目は平成28年6月～7月に渡って開催し、計6日間で約150名のお客様にご来場いただきました。

縁起物、茨城に関する手ぬぐい等150点を展示するとともに、今回は「染めの型紙」「縁起物玩具」を展示しました。

手ぬぐいのワークショップも開催し、すっかりお馴染みとなった、ぶにの家さんによる「じっくりコース(型染め体験)」と、参加できる間口を広げるために「お手軽コース(おえかきてぬぐい)」を開催し、好評を博しました。



(右) 初夏の風の中、150点にのぼる手ぬぐいの展示となりました。  
(下) 魅力をより伝えられるように、手ぬぐい展開催前に会員参加の藍染ワークショップなどを行い、手ぬぐい展では、その作品の販売も行いました。



(上・下) ワークショップを開いてくれた「ぶにの家」飯塚さんの協力で、かつて北条で使われていた「染めの型紙」の展示風景です。

## めでたづくし文様帖 ワークショップ ことほ ～寿ぐ春を迎えるしたく～

筑波山麓秋祭り2016期間中の企画として、平成28年11月3日に開催いたしました。切り紙研究家 下中菜穂氏を講師に向かえ、14名の参加者とワークショップを楽しみました。

当日はおめでたい文様を切って、小さい屏風にレイアウトして作品としました。また、ワークショップ終了後は型紙に粉糖をふってケーキを楽しみながら作品鑑賞会と交流会を開催し、楽しんでいただきました。

文様帖ワークショップも3年目を迎えました。講師の下中菜穂さんからわかりやすい説明を受けて作業開始です。

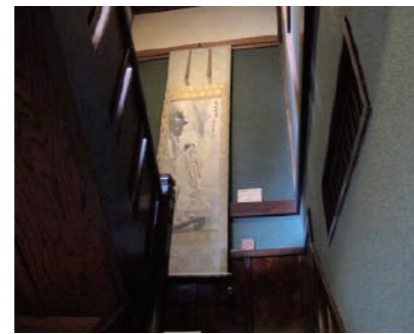


(左・中) ご参加の皆さんは、手元に集中しながら、自分好みの紋切りあそびを楽しみます。  
(右) みんなの作品が勢ぞろいです。おめでたい模様づくしで、それぞれお持ち帰りいただきました。



(左) 今回のテーマは「めでたづくし 寿ぐ春を迎えるしたく」。おめでたい文様を切り出して、屏風にレイアウトしていきます。  
(右) お茶会、ガトーショコラ。紋切りをのせて、粉糖をふりました。紋切りを外すとみごとに模様that浮き上がり、美味しくいただきました。

# 地元の学校との連携



(左) 邸宅所蔵の野沢如洋の作品を展示しました。  
 (上) 邸宅全体を使つての展示です。美術館とはまた違った雰囲気でご鑑賞いただきました。  
 (下) 掛け軸とともに、屏風一雙一雙も展示しました。迫力のある屏風は初披露です。

## 矢中龍次郎が好んだ 反骨の絵師 野沢如洋展

筑波山麓秋祭り 2016 期間中の企画として、矢中龍次郎氏が好み多くの画を所有した日本画家 野沢如洋作品展を実施し、8 日間の開催で約 60 名の方にご来場いただきました。

コレクションの中から掛け軸 17 幅、屏風 1 双 1 隻を展示しました。邸宅全体を活用した展示をおこなうことで、美術館で作品を鑑賞することはまた別の文化財鑑賞の仕方を提供できました。



(上) 野沢如洋は「馬の如洋」と呼ばれました。馬をモチーフにした作品が有名で、矢中の杜にも作品が残っています。  
 (下段中) 掛け軸の木箱の中には「贈 矢中龍次郎様」とあり、交流のあった中山直氏からの贈り物だとうかがえます。  
 (下段右) 邸宅全体を使つての展示です。美術館とはまた違った雰囲気でご鑑賞いただきました。



## つくばね学

茨城県立筑波高校が本年度から実施している「つくばね学」に参画しました。筑波高校の 2 年生、3 年生が 2 年間、地域の企業や団体等の活動に実践的に関わり社会力を育成していくカリキュラムです。

矢中の杜では 2 学年 5 名を平成 28 年 9 月から毎週金曜日の午後には預かり、邸宅の管理活動や PC への資料入力などに携わってもらっています。

(上段)「つくばね学」では、筑波高校の 2 年生 5 人が、邸宅の維持管理と運営事務に挑戦しました。  
 (下段左) 邸宅入り口に、敷石を引く作業を行いました。雨の日のぬかるみ対策になりました。  
 (下段右) 北条市の準備も手伝いました。のぼりを立てたり、力仕事も手伝いました。



(上段左) 縦割り班での作業です。1 年生から 6 年生までができてくれました。  
 (上段右) 広い庭の様々な場所で行いました。年間を通じての活動です。  
 (下段)「クリーン作戦」では、今年も北条小学生たちが、庭の掃除をしてくれました。

## 北条小学校との連携事業

地元の小学校との連携は例年積極的に図っているところです。本年度も邸宅の清掃活動を通じて文化財保護を学ぶ「クリーン作戦」を 1 年間で 8 回実施し、また 3 年生の社会科授業「のこしたいもの、つたえたいもの」への協力を 1 回実施しました。

地域の児童に矢中の杜の周知をしてもらうことは非常に有益であると感じています。



# 文化財の保存・活用事業

## ■邸宅公開

本年度も毎週土曜日を原則として邸宅公開を実施しました。ガイドが来場者の興味関心などを汲みながら、臨機応変にツアーを行うことで満足度の高いものを提供することができました。

本年度は約420名の見学者の方においでいただきました。



ガイドをしながら、邸宅を紹介すると、気づかなかったものが見えてくることもありました。



排水路の掃除で、長く絡んだ木の根を撤去しました。横井戸の流れが確認できました。

## ■邸宅修繕・清掃

本年度は、外部補助金を活用した大規模な修繕工事は実施いたしませんでした。ただし、邸宅の日常点検や手入れは念入りにおこないました。活動が長期にわたってきても、新たな発見が折々に見られ、活動しているメンバーも刺激を受けています。

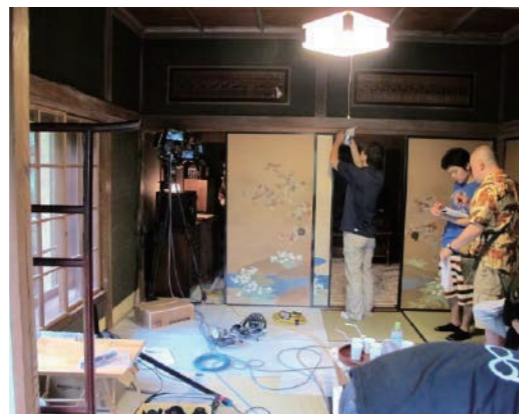
本年度は、大雨をきっかけとした排水管の掃除をとおして、枯れていると思われていた横井戸が生きていることが確認されました。



## ■NHKドラマのロケ活用

NHK BSプレミアムのドラマ「江戸川乱歩短編集 妖しい愛の物語 ～何者～」のロケ地として邸宅が利用され、本館書斎、地下室、別館食堂及び前庭で撮影されました。(平成28年12月26日放送)

矢中の杜でもHPやFacebook等でPRを行い、好反応を得ました。



ロケは2日間にわたって行われました。ドラマスタッフの皆さんが、機材の設営をしています。



(中) 前庭でも撮影が行われました。玄関前の大谷石の階段も活用されました。(右) 別館の食堂は、そのままドラマでも「食堂」として登場しました。豪華な板戸絵が乱歩の雰囲気にとりあっていた。



# 普及啓発事業・研究事業

## ■守り人育成講座

第8期として平成28年5月31日と6月14日に実施し、1名が受講しました。旧矢中邸の基礎知識を身につける座学及び邸宅の見学というカリキュラムで実施しました。

座学の様子です。文化財の保護の考え方や邸宅の特徴などを学びます。



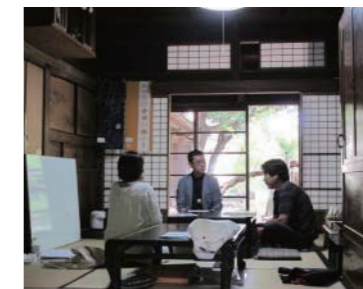
地域おこし協力隊交流研修会は宮清大蔵で行われました。皆さんに矢中の杜を見学していただきました。



## ■地域おこし協力隊の研修

都市から地方へ移住し、地域づくり等に参画する「地域おこし協力隊」(総務省が委嘱)との交流研修会へ平成28年9月10日に参加しました。

23名の協力隊員に対して講演と邸宅見学を行い、参加者からは矢中の杜に対して好評を得ました。



## ■守り人満喫デー(土浦・東京)

会員の文化財に対する知識の深化や会員同士の交流を目的として、本年度は2回開催しました。

1回目は平成28年4月12日に土浦市の視察をおこない、復元工事中の酒蔵や土浦市立博物館の特別展「ま

ちのしるし しるしが語る土浦の近代」などを視察しました。

2回目は同年4月17日に東京都大田区へ赴き、昭和のくらし博物館を見学し、その後文様帖ワークショップでもお世話になっている切り紙研究家下中菜穂氏の自宅を訪問しました。

復元工事中の土浦市の矢口酒店。工事中の蔵の様子なども見学しました。



(上・右上) 民間の博物館である「昭和のくらし博物館」。学芸員の方からお話を伺いました。(右下) 下中菜穂氏のご自宅にて、文様のコレクションに心躍る守り人たち。

